

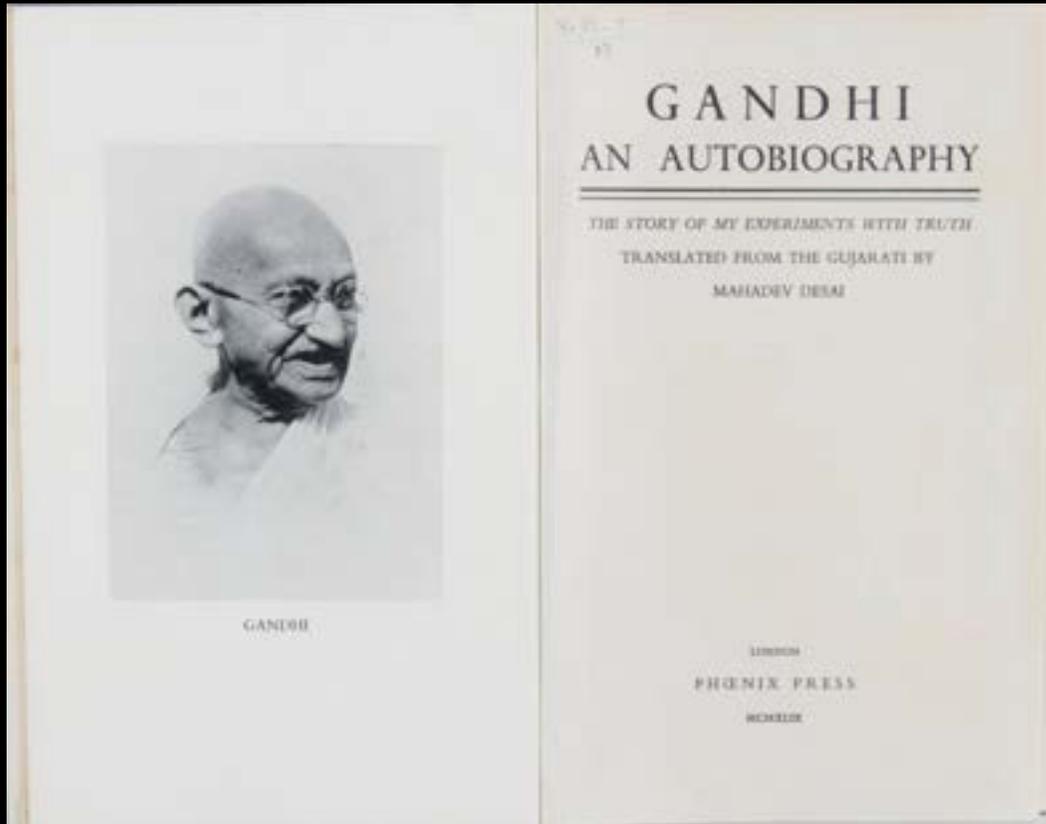
じじょでん
ガンディー自叙伝
マハトマ・ガンディー 1927年
(1949年、ロンドン刊)

「真実をわたしの実験対象として」

『ガンディー自叙伝』は、世界のほぼすべての言語に翻訳されたベストセラーです。1925年から、週刊誌『ヤング・インディアン』で連載が開始され、27年に上巻、29年に下巻が出版されました。幼少時代から始まり、1921年に指導した「反英非協力運動」に至るまでの出来事が記されています。悠久の歴史をもつインド思想を、インド独立運動、そして近代政治の場で実践させたことは、まさにガンディーの「真実への探求」でした。

An Autobiography: The Story of My Experiments with Truth, Gandhi, 1927 (Published in 1949), London

This best-selling book was published in almost every global language. The original series started in 1925 as a column in a weekly magazine Young Indian. The 1st book volume was published in 1927 and the 2nd volume in 1929. This book includes stories from Gandhi's childhood and until his leadership of the Anti-British Non-Cooperation Movement in 1921.





ガンディー自叙伝-真実をわたしの実験対象として 1949年

真実をわたしの実験の対象として



私が着ている服は、どのような服かな?
考えて、下にかいてみよう!
(ヒント:7階のオリентホールの展示にあったわたしの写真を思い出してみよう! 「ガンディーが求めているもの」の本にあった写真だ)

ガンディーは、糸車(チャルカ)を使って糸を作り、その糸を使って作った綿(めん)の布(カーディ)を着ていました。
そのようなガンディーの姿は、インドの独立運動(どくりつうんどう)の象徴(しょうごう)となっています。

★インドの綿(めん)の布

⇒インドの綿は、世界で一番古くから作られていて、インダス文明の時代に始まっています。インドの綿製品(めんせいひん)は、18世紀までは世界で一番でした。

左の赤い布のように、その色や織り方(おりかた)がとても素晴らしいのです。

